

平成30年度実績に係る部局評価書

部局名: 歯学部附属病院

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		学外(医学部附属病院、介護施設等)での実習を全員必修とした取り組みが平成31年2月17日に「文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム」の総括シンポジウム(岡山市)にて発表され、短期間で制度設計とカリキュラムの実施を成し遂げた事に対して大きな評価を受けたことが評価できる。
【研究】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【社会貢献】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		国際歯科医療センターのような、外国人に対する歯科医療の支援の一元化を目的とした拠点の整備は、全国の大学・歯科大学の附属病院においても類を見ないものであり、そのインバウンドおよびアウトバウンド活動がさらに充実している。また、外国人アドバイザーボードによる評価を実施し、概ね高評価を得るとともに、さらなる改善のための指摘を受け、来年度に向けたフィードバックを検討していることなどが評価できる。
【業務運営】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。

【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 常勤教員一人当たりの科学研究費補助金の獲得について、積極的に取り組むことで目標値を大きく上回る実績を上げていることが評価できる。 また、常勤教員公募に占める国際公募の割合及び常勤教員基礎データ入力率について、前年度に引き続き、100%を達成していることが評価できる。</p>
--